

## 第1回大会～第4回大会まで

### 【質問内容】

ファッション甲子園大会後、昔を振り返ってみて一言お願いします

ファッション甲子園に出場したことはあなたの将来にとってどのような影響を与えましたか？

ファッション甲子園はあなたにとってどのような“もの・存在”でしたか？

あなたは今どのようなお仕事をされていますか？

(H21年度返答分)

## 第1回大会(平成13年度開催)出場生徒



東京都 H高校卒 I.Uさん

自分たちのアイデアを形にできたことの楽しさをよく覚えています。  
自信につながりました。

貴重な発表の場であり、他校の存在も魅力的でした。  
保育士です。



奈良県 J高校卒 H.Sさん

大変だったけど、その時にしか出来ない経験。

進路で悩んでいた時に出場してアパレル業界に進むことを決意したこと。  
自分がつくるきっかけ。出発点。

舞台衣装制作をしています。

## 第2回大会(平成14年度開催)出場生徒



長野県 S高校卒 K.Iさん

大変心に残る良い経験が出来て嬉しく思います。

作品の見せ方の勉強ができたので、今も自分の作品をより良く見せる努力ができるようになりました。

高校時代の一大イベントでした。

パタンナーをしています。



青森県 H高校卒 Y.Mさん

新しい世界を知ってキラキラしていたと思う。

高校時、服飾専門学校の学長さんに声をかけてもらうなど、思い描いていただけ、好きだっただけの世界を現実化するチャンスを与えてくれたと思う。

偶然近づけた夢、世界でした。

今は学生で、来春からカーディナーをします。しかし、まだファッション界への興味は心にのこっています。



岐阜県 O高校卒 M.Tさん

仲間と1つのことに取り組める楽しさ、幸せを感じた。

自分の感性を否定せず、物事を前向きにとらえるようになった。

新しい世界・新しい人・新しい個性に出会えた場の1つ  
カウンター業務（接客）をしています。



岐阜県 O高校卒 T.Mさん

程良く充実してました。

色んな感覚を知り、受け入れられていたことで、自分自身の中で感性の許容範囲が広がった。

新しいコンテスト

アパレルの販売をしています。



岐阜県 O高校卒 Y.Tさん

毎日苦戦しながらも好きな裁縫ができて楽しかった。

服飾が好きなんだと再確認できた。

その場に行ってみて大きな大会なんだと自覚し、参加できたことが今もいい高校生活の記憶として残っている。成長させてくれました。

学生をしています。

### 第3回大会（平成15年度開催）出場生徒



兵庫県 K高校卒 M.Oさん

当時は、表現において、幼い面があったと思うと少し恥ずかしいこと

もありますが、それでも3人1丸となって挑んだ大会では、すべての力を出しきって“ファッション”というものを表現しようとした気持ちを今でも新鮮に思い出します。

まず、“ファッション”という表現の場において、何をどのように表現することが最適なのかを学び、絵画を学ぶ今でも、その表現の力は、生かされています。そして、チームワークの大切さと行動力でしょう。それは今の研究室での活動力に、留学にと生かされました。

何よりも青春でした。あの輝きはあの時だけの大切なものです。

そして誇れる経験です。ファッション甲子園から”人との出会い“の大切さを学び、今は世界中の人と出会っていきたくと思いますし何より、その出会いをかみしめながら、何があっても、楽しく乗り越えていきたくと思います。

美術分野の大学を卒業した後、大学院（芸術と文化活動の教育コース）を専修しています。

青森県 H高校卒 S.Yさん



今の自分を作ってくれたものだと思います。本当に大会にでて参加できてよかったです。制作はとてもきつかったです。

モノ作りの根本的なものを教えてもらったと思います。人に何かを伝えることがしたいと思わせてくれたと思います。今でもこの大会が自分の中で原動力になっています。

高校生活最大の思い出。今まで味わった事のない達成感を得た。青春そのものだったように思います。

芸術系の大学を卒業。立体造形（彫刻・絵画）制作を個人で行いなら個展やグループ展を開くなど、アート分野で動いています。海外留学も考えています。

岐阜県 G高校卒 C.Nさん



学生の際は自分でデザインした服をわりと自由に作ることができましたが就職すると決められたものしか作れないので、昔は自由な服作りが出来て楽しかったです。

進学、就職の際にファッション甲子園入賞の実績があると胸を張って言えて有利でした。

応募することが学校の課題だったので、半分義務のように思っていました。しかし入選して3人で作るうちに感性を人に認めてもらいたいと思い、努力した結果入賞したので自分の誇りに変わりました。

アパレル会社でパタンナーをしています。



青森県 T高校卒 H.Tさん

若かったなあと思います。単純にそれだけです。

衣服は何のために存在するのか。ファッションショーとはいったい何であるのか考える動機になったと思います。

当時は誇らしかったです。

大学ではファッション文化について学んでいます。将来はアパレル・広告業界の就職を考えています。



神奈川 I高校卒 H.Tさん

高校生最後の年に出場できたことももちろんですが、ファッション界で有名な審査員のかたたちとお話できたことがとても印象に残っています。そして自分自身を振り返るとどのデザインも負けないと思っていた若いエネルギーを思い出しました。

周りのハイレベルな作品と本気でファッションデザインを志している人たちに会い、自分は本当に何がしたいのかを見つめかえす良い機会になり、何を大学で勉強するのかを決める要素の1つになったと思います。また、幸運にも中野裕通賞を頂いたのですが、自分が作品に対して納得していなければ他の人に認められていてもそれほどの喜びは得られないと感じ、思いあがらない、自分に妥協しないということは今でも自分の中の信念になっています。

高校生活の思い出づくりです。

米国の大学で、舞踏人類学を専攻しています。

神奈川県 I高校卒 M.Mさん

素敵な思い出です。青春でした。

履歴書に“特技：裁縫”と書けるようになりました。

クラブ活動においての目標でした。

役者、飲食業などを行っています。





福井県 K高校卒 Y.Mさん

あっという間でした。だけど、そのすっごく短い期間に、全エネルギーを注ぎ込んで、たくさんの人に出会えてまさに青春真っ只中でした。

ますます、ファッションを楽しめるようになりました。また、服だけでなく、インテリアや照明、ショーウィンドーなど、あらゆるもののデザインに興味をもつようになりました。将来、開業したときや自分の家を建てる時、磨いてきたセンスをぶつきたいです。

高校生活の中で一番の思い出です。あのときに、ぐっと自分が成長できたと思います。また、今振り返ってみると夢のような時間でした。

歯科医師を目指し、大学に通っています。



福井県 K高校卒 S.Kさん

高校生活の中で一番自分が輝いていた、頑張っていた時でした。美しい服、華やかな服が好きで、小さいころからの夢はアパレル業界で働くことでした。ファッション甲子園に出場してからも、大学に入学してからも、その夢は変わっていませんでした。

アルバイトもアパレル販売員を経験し、就職活動もアパレルに絞って活動していました。しかし、服が好きすぎて、服を販売することが出来ないことに気付きました。そこで進路を変更して、小学校教員になることにしました。ファッション甲子園のショーで私が夢を実現できたことを支えに、今度は私がこどもたちの夢を支える役目を果たしていきたいと思っています。

自分のあこがれていた世界を手にした感じ。夢が現実のものになった感じです。

高校卒業後は、大学で家政学の勉強をしています。服が好きで被服学の研究をしていますが、春からは小学校の教員として社会にでます。



宮城県 T高校卒 A.Oさん

なつかしいです。今みるとはずかしいです。あの発想は今ではできません。

夢に一步近づけた気がしました。今でも自信につながっています。「私達は何にだってなれる。私達に不可能なんてない。」って

感じでしょうか。ずっと忘れたくないし、忘れてはいけない存在です。

現役で、ファッション系の大学に入学し、1年休学し、フリーランスに生きてみて、コンテンポラリーと出会ったり・・・。

今年3月に卒業です。夢は自分のブランドを持つこと。

でも、まだまだやりたいことがあるので、目の前の目標は演出を試みたいと思い、人形劇団に入ろうと思っています。

ファッションって自分をとりまく全てがファッションですね。

ゆっくりでいいので、自社ブランドのデザイナーになって、全てをプロデュースしてみたいです。



宮城県 T高校卒 M.Cさん

なつかしいです。

新しいことに挑戦する時、「いけるかも!!」という自信につながります。

青春そのものでした。

美容師をしています。



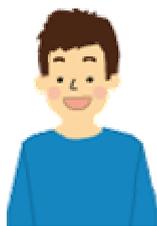
愛知県 O高校卒 T.Wさん

なかなか体験できない、とてもいいものでした。

チャレンジ精神がつかえました。なせばなる。

様々なデザインに触れられたいい機会でした。

雑貨、販売員



愛知県 O高校卒 S.Mさん

めったに出来ない経験ができてうれしかった。

少し本番に強くなった気がします。

当時は高校生活の中での最大の挑戦みたいな感じでした。今はものすごくいい思い出です。

薬局従業員として働いています。



愛知県 O高校卒業 M.Hさん

高校生活の楽しい思い出です。貴重な経験をさせていただきました。作品を最後まで作り上げるための忍耐を身につけることができました。

同じチームの仲間との絆を深めるもの  
印刷会社勤務。DTPオペレーターをしています。



福井県 K高校卒業 N.Nさん

出場できたのは友達の応募がきっかけでしたが、今でも誇らしい経験ができたと思います。

全国の高校生が集まり、ファッションが好きで皆さん生き生きとした表情だったのを今でも強く印象に残っています。みんなが夢に満ち溢れている感じで、自分も将来に向かって頑張らないと、と思ったのを覚えています。

ファッション甲子園に出場した当時も思いましたが、今でも大変貴重な経験ができたと思います。他校の人たちとも交流でき、大変刺激を受けました。

病院の中の歯科で、受付兼歯科助手をしています。ファッションとはかなり離れていますが、もともと希望していた仕事なので、今の仕事は好きです。



静岡県 S高校卒業 N.Sさん

すごくよかったです。未来について真剣になれたし、ぼんやりすごしていた高校生活が一転して、好きなことに一生懸命になれました。自信になった。大学入学も有利になったし、まわりにも刺激になったらしく、楽しかった。私はもともと美術を勉強していたのでもっと美術を幅広く学ぶきっかけとなりました。

刺激的な友人たちとの出会いの場であり、大きなチャンスでした。  
県立美術館の教育スタッフとして働きます。

## 第4回大会（平成16年度開催）出場生徒



北海道 I高校卒 S.Sさん

入選したおかげで、服飾専門学校に入ることができ、経験になりよかった。

ファッション甲子園でつくった服は、今思うと早替えのあるデザインだったのですが、もっとこうすればよかったと反省する点はありました。しかし、今衣裳の仕事についたが、このファッション甲子園を前にやったことが今やっている事に役立っています。

高校生活で一番真剣にやったことでした。

衣裳制作をされているかたのアシスタントをおこなっています。



青森県 H高校 F.Kさん

様々な県からの出場チームの皆と友達になれたことが楽しかった。

そして良い意味で、たくさんのアイデアを盗むことができて良かった。

ファッション系の専門学校へ行く決心がついた。色々な自信がついた。

一生残る思い出となった。

ファッション系企業に就職。



広島県 K専門学校 M,Nさん

真剣にものを作ることの大切さを学んだと思います。

物づくりの大切さ、自己表現の難しさを学び、その経験から色々な所に視野が広がりました。

最初は通ったことが嬉しく、けど次は誰にも負けないと思うことができたので、競争心をもてた存在でした。記憶として残っており成長させてくれました。

ファッションからは少し離れましたが、スポーツユニフォームのマーク加工の仕事に就き、ものづくりを楽しんでいます。



熊本県 O高校 R.Nさん

出来ない体験ができてよかったし、いろいろな人たちと出会って貴重な勉強ができたこと。

今現在には影響はありませんが、学生時代には影響がありました。

ヘア・メイクを担当したこともあり、美容の道に進み美容師見習を

しました。

学生生活の中では考えてもみななかったことだったので、緊張した環境の中での協力して製作するという体験が大切なものとなりました。結婚をし、農業をしています。畳の材料になるい草を生産。機械でゴザを製作しています。



熊本県 O高校 T.Mさん

貴重な体験をすることができ、参加できたことを嬉しく思います。自分の可能性を垣間見、進路選択時の視野が広がった。自分の将来にとって経験という大きな価値を得たと思う。

友達と一緒に作りあげた服を沢山の人の目に披露できた、夢の舞台でした。

金融機関の窓口業務をしています。



熊本県 O高校 K.Mさん

高校生活の大きな思い出の1ページ。体育祭などにならぶいい思い出になっています。

夢を追いかけるきっかけ。足踏み状態だった進路を決めるひとおしになりました。

みんなで1つのものを1から作っていくという大変さと作る過程での楽しさ。そして完成した時の達成感を改めて感じることができました。

パタンナー・企画（帽子製造会社で顧客注文 パターンからOEM、自社オリジナルブランドのパターン、企画など）を行っています。